

路線の記載ですが、94 ページから複数の市町に跨がる広域路線の乗降状況を調査した停留所別乗降調査の結果も記載しているところです。第4章ではさらに、144 ページに交通の結節点、151 ページに市町における公共交通施策の状況を記載しています。

154 ページ。第5章では、第2章から第4章までの現状を踏まえ、圏域ごとの現状と課題、道南地域の現状と課題を整理しています。

161 ページ。第6章では、計画の基本的な方針や目標を記載しました。

162 ページ。第5章の現状と課題の章では、現状(課題)を①止まらない路線バス利用者の現状、②路線バスを取り巻く環境の悪化、③北海道新幹線札幌開業による交通体系再構築の必要性としています。そして課題を地域の実情に応じた持続可能な公共交通の確保としています。そして計画の基本的な方針を地域住民の日常生活や周遊観光に不可欠な広域路線の維持・確保、他の交通モードとの接続強化など広域路線の利便性の向上とし、本章ではその計画の目標を定めています。具体的には持続的な公共交通ネットワークの構築と公共交通に対する意識醸成や利便性の向上等による利用促進を計画の目標としています。

165 ページ。第7章では、第6章で設定した目標の達成に向けた具体的な施策・事業を整理しました。

167 ページ。施策・事業①は圏域別検討体制の構築ですが、きめ細かい議論を行うため、渡島東部、渡島西部、渡島・檜山北部、檜山南部の4圏域に分けて、167 ページ一番下にある路線について検討する体制を構築したいと考えています。

169 ページ。施策・事業②は広域路線の運行の最適化です。各路線における運行の現状の把握に努め、利用実態等に即した運行の最適化を行うというものです。

171 ページ以降、道南地域における広域路線の維持・確保方針を記載していますが、現状では空欄になっています。たとえば「本システムについて住民等の移動実態やニーズを踏まえた運行の効率化を検討するなど、公共交通サービスの最適化を図り、現在の交通体系を維持していく」といった記載ぶりが考えられますが、維持・確保方針については、皆様との合意の下で記載できればと考えている部分です。路線をどのようにしていくのか具体的にご相談させていただくこともあるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いします。

174 ページ、施策・事業③は乗換・待合環境の向上、177 ページ、施策・事業④はバス運転手等の担い手確保、180 ページ、施策・事業⑤は公共交通の利用に向けた意識醸成、185 ページ、施策・事業⑥は観光誘客による公共交通の利用促進について、具体的な取組内容、取組主体をあげています。すでに実施しているようなものもありますが、引続き、取組みが必要と考えているものも含まれています。

189 ページ。第8章は、第7章で述べた取組みを着実に進めていくための推進体制・評価体制について記載しています。本日協議会に参加している皆様と地域一体となって取組みを進めていきたいと考えています。道南地域公共交通活性化協議会もモニタリングと評価を6月、中間評価を12月に実施するなど年2回は開催したいと考えているところです。

本日の協議会の後に皆様から書面でいただくご意見を踏まえて、本ただき台を修正し、正案

の作成を進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。以上です。

寺島地域創生部長：本たたき台につきましては、皆様から書面にてご意見をいただき、そのご意見を踏まえて素案を作成していく予定としておりますが、現時点で何かご意見・ご質問はございますか。ないようでしたら、書面にてご意見をいただくご案内を近日中にさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

3. 議事(2)今後のスケジュールについて

寺島地域創生部長：それでは次の議事に移ります。次第の2「今後のスケジュールについて」事務局から説明させていただきます。

大原新幹線推進室長：お手元の資料2により、今後のスケジュールについてご説明させていただきます。

本日、事務局において作成した道南地域公共交通計画たたき台を皆様にご説明しました。

第1回協議会でお示したスケジュールから約1ヵ月遅れていますが、今後、たたき台に対しては、書面による意見照会を実施し、素案としてまとめる考えです。その後、9月末に開催予定の第3回目の総会で、素案の概要をご説明し、道による内部手続と並行して、パブリックコメントの準備を進め、年末の第4回目の総会を経て、年明けにパブリックコメントを実施する予定です。そして、遅くとも3月には、最後の総会を開催して、パブリックコメント結果を報告し、道南地域公共交通計画の内容を確定させるほか、計画の初年度となる令和6年度以降の推進体制や事業計画等について皆様と協議していきたいと考えています。

寺島地域創生部長：何かご意見・ご質問はございますか。なければ、このスケジュールにより、この協議会で皆様と協議を進めてまいりますので、よろしくお願いします。

4. その他

寺島地域創生部長：「その他」ですが、全体を通してご意見・ご質問等ありますでしょうか。函館運輸支局さんから、何かご発言ありますでしょうか。

酒井首席運輸企画専門官：確認ですが、道南地域における広域路線の維持・確保方針については、圏域別の検討部会で話していくという理解でよろしかったでしょうか。

大原新幹線推進室長：そのとおりです。

寺島地域創生部長：続きまして、事務局からバス運転手合同就職相談会の説明をお願いします。

津田主査：渡島総合振興局地域政策課の津田です。私の方から、バス運転手合同就職相談